診断なら　2020 年新年号

－ 目 次 －

◆ 新年のご挨拶 …… 1
◆ 平成 30 年度理論政策更新研修開催報告 …… 2~3
◆ 活動報告
奈良県立図書情報館「体験学習会＆無料経営相談会」実施報告…… 4~5
平成 29 年度地域創業促進支援事業
「やまとたかだ 2019 創業スクール」開催報告 …… 6
大和高田商工会議所主催「魅力創造フェア」活動報告 …… 7
近畿ブロック会議　活動報告 …… 8
「114（いいよ）ね!! 中小企業診断士」活動報告 …… 9
産学官連携研究会だより …… 10
次世代経営者育成研究会だより …… 11
◆ トピックス
第 26 回診友会開催報告 …… 12
ならまち糞虫館 …… 13
◆ 各研究会活動状況 …… 14~15
◆ 新入会員自己紹介コーナー …… 16~17
◆ 奈良県診断士会行事開催予定 …… 18
◆ 編集後記 …… 18

新年のご挨拶

一般社団法人
奈良県中小企業診断士会
会長　森 昭彦

新年、あけましておめでとうございます。
一般社団法人 奈良県中小企業診断士会の森です。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

早いもので、令和も２年になりました。
最早、去年のネタになってしまいましたが、年末の新語・流行語大賞は、「ONE TEAM」でしたね。私も熱狂してラグビーワールドカップを見ていた「にわかファン」です。

ジャッカル、オフロードパス、Wタックルと話題のプレーが満載の日本代表でしたが、不利だと思われたスクラムで日本チームが押しまくっている姿に興奮しました。
鮮烈な目標に向かって、成し遂げていく姿に感動しました。
心から楽しんでいるなぁ、良いなぁ、羨ましいなぁ、とも感じました。

アイススケートの日本女子パシュートが金メダルを取り、陸上の 400m リレーで日本男子チームが銀メダルを取った時も同じような状況でしたね。
仮に個々の力が劣っていても、チームの力が結集すると勝てる。
一つになる、一つになれるというのは、本当に凄いことだと思います。

それは会社のような、多様なメンバーが集まる組織でも可能でしょうか。
皆が目標に向かって生き生きと、夢中で働く、強い組織づくりです。

組織づくりは、「挑戦的で達成可能な目標の設定と共有」、「自発的に相互補完をし合える協働性」、「個々のメンバーの成長」の３つが鍵になると言われます。スポーツでも仕事でも、基本は大きく変わりません。異なるのは、好きな人が集まっているのか、嫌々やっている人が多いのかという点ではないかと考えます。
「メンバーの働きがいや組織を愛する気持ちをいかにして高めていくか」、ここを飛ばしては、本物の強い組織づくりはできないのです。

奈良県中小企業診断士会は、これからも経営者や従業員の皆様と一緒に、皆が生き生きと活動する、魅力的な組織づくりを支援していきたいと考えています。
引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

令和 ２年 １月

令和元年度理論政策
更新研修開催報告

理事　岸　克行

一般社団法人奈良県中小企業診断士会主催の理論政策更新研修を、令和元年９月８日(土)に大和信用金庫八木支店ビル３階会議室にて開催しました。

今回の更新研修の内容は、近畿経済産業局、JETRO 奈良支部、日本弁理士会の ３名の講師から、中小企業経営支援策、中小企業の海外展開支援、特許・商標等の知財管理などのテーマに沿った内容で講義が展開されました。受講者数は昨年に続いて１００名を超えました。アンケート結果は役に立ったとほとんどの受講者に評価され、それぞれの講座評価も非常に高い評価でした。

（森会長の挨拶）

（司会の堀越副会長）

第一講　中小企業・小規模事業者支援政策について

【講師】 近畿経済産業局 産業部 中小企業課　課長補佐 中村 隆氏

第一講では、近畿経済産業局 中村様より、「最近の中小企業・小規模事業者施策について」を施策立案された意図も交えて講義いただきました。

第二講　中小企業の海外展開支援
【講師】日本貿易振興機構（JETRO）　奈良貿易情報センター　所長

２０１８年にジェトロ奈良貿易センターが開設されました。第二講では、奈良県出身の山本所長より、中小企業の海外展開の必要性や JETRO の支援内容をご講義いただきました。

第三講　中小企業の知財戦略支援について
【講師】　日本弁理士会 関西会 奈良地区会　副会長　小野 敦史氏

特許、商標など身近な知財について事例をもとにわかりやすくご講義いただきました。

今年度の反省は研修を診断協会の HP にて告知してから短期間で満杯となり、本会会員が申し込みを希望しても既に満席になっていたとの声も多数ありました。研修受講を希望される本会会員が、受講し易くすることが次年度の課題となりました。
2020 年度は 2 回開催する計画です。会員の多数のご参加をお待ちしております。

参加者の様子

活動報告

奈良県図書情報館

「体験学習会＆無料経営相談会」

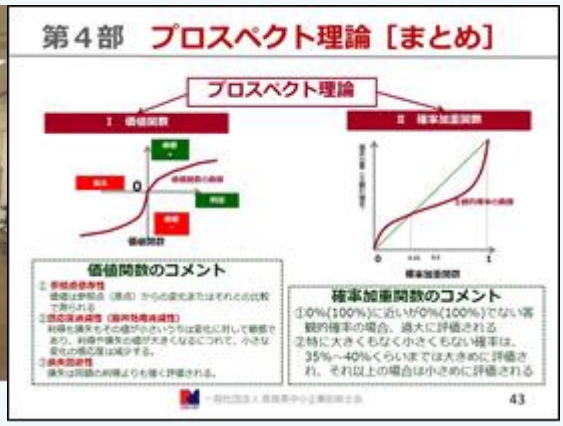
会員　深谷　繁

前回（2019 年夏号）までの「診断なら」でご報告をいたしました通り、企業内診断士研究会では、2013 年度より奈良県立図書情報館様との共催で、「中小企業診断士による体験学習会＆無料経営相談会」を行っています。

初年度の 2013 年度は 3 回(3 日)、2014 年度は 2 回（2 日）、2015 年度から 2018 年度までは各 6 回（6 日）実施しました。今年度（2019 年度）も 6 回（6 日）実施予定で、このうち第 3 回目までは前号でご報告をいたしました。

第 4 回目は 11 月 10 日（日）に行いました。体験学習会は 4 名の方が受講に来られました。この日は、深谷繁が『行動経済学入門（2）（～プロスペクト理論編～)』の題目で、二つの論点、Ⅰ．価値関数（参照点依存性、感応度逓減性、損失回避性）とⅡ．確率加重関数（微小な確率の過大視、確実性効果、主観的確率の劣加法性）を説明しました。さらに主観的確率とリスク態度に関する補足（リスク回避的⇔リスク追求的）を行いました。また、受講者の皆様には個人演習を交えて理解を深めて頂きました。

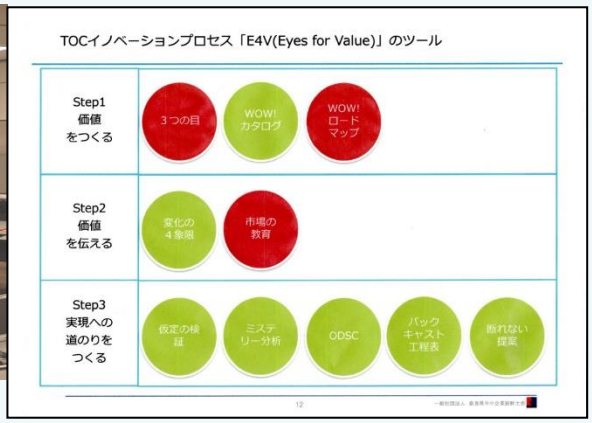
この日、経営相談会にはどなたもお越しになりませんでした。



第 5 回目は 12 月 8 日（日）に行いました。体験学習会は 3 名の方が受講に来られました。この日は、長雅規氏が『「実践！ブレイクスルーシンキング」～E4V による顧客の Wow!を引き出す新たな価値の創り方～』の題目で説明しました。内容としては、

①TOC イノベーションプロセス(E4V)の説明、②新たな価値を創るための「３つの目」「影響力のチャート」「Wow!ロードマップ」の説明、③価値を伝えるビジネスモデルを設計するための「市場の教育」の説明、④２つの企業（コインランドリー業、トランクルーム業）のケーススタディの解説の後、⑤ワークショップとして「庭師の新たな事業モデル」を題材にして討議しました。

この日、経営相談会にはどなたもお越しになりませんでした。



上記の 2 回には、企業内診断士研究会のメンバーである上野浩二氏、香川登志雄氏、谷村幸治氏、長雅規氏、永山信男氏、水越義則氏と深谷繁の 7 名が従事しました。

今年度の第 6 回目は 1 月 12 日（日）を予定しています。また来年度(2020 年度)につきましても、今年度の同様に全 6 回の開催を計画しています。詳細が決まりましたら、図書情報館様のホームページやチラシなどによる広報手段や、奈良県中小企業診断士会のホームページなどでお知らせをする予定です。

以上

令和元年度地域創業促進支援事業

「大和高田 2019 創業塾」

理事　岸　克行

2019 年も大和高田商工会議所様より創業塾開催支援の依頼がありました。当会ではカリキュラムを作成し、講師を奈良マーケティング研究会のメンバー中心に設定しました。

本年度も事業計画書が作成できる実践的な内容で、展開できました。参加受講生は、いずれも本気度の高い優秀な方ばかりでした。

日程とカリキュラム、担当講師は以下の通りです。

大和高田 創業塾 2019 カリキュラム　＊受講証明書は 1 回～4 回までの受講をされた方に発行いたします。

全5回	第1回	9/21(土) 9:00～12:00	事業計画	森 昭彦講師　中小企業診断士 岸 克行講師　中小企業診断士
	第2回	9/28(土) 9:00～12:00	販売計画	岸 克行講師　中小企業診断士
	第3回	10/5(土) 9:00～12:00	人材育成	津田 一郎講師　中小企業診断士
	第4回	10/19(土) 9:00～12:00	財務会計	保延 薦講師　中小企業診断士
	第5回	10/26(土) 9:00～12:00	事業計画発表とＢＵ	鈴置 祐介講師　中小企業診断士 岸 克行講師　中小企業診断士

今年度の反省は、企画スタートが 6 月からとなり、開催日が今までと同時期の 9 月中旬から 10 月下旬までに集中したことと、告知期間も短かったことです。他の創業塾は 4 月頃より募集ポスターなど告知活動が展開されており、出遅れ感は否めません。創業塾を受講することのメリットとしては、小規模事業者持続化補助金での対象事業金額の増額や、事業承継補助金における後継者の経営者としての適格条件となるなどがあります。

産業競争力強化法に基づく該当市町村の「特定創業支援事業」での展開が次年度も展開されるのなら、企画・広報にはじっくりと取り組んでいきたいと思います。

←2019 年度の告知ツールには、大和高田市内で補聴器専門店を開業された大和高田創業塾の卒業生に登場していただきました。

大和高田商工会議所主催
「大和高田魅力創造フェア」活動報告

理事　岸　克行

本年度も大和高田商工会議所様より、「大和高田魅力産業創造フェア」のコーディネートを受託し、当協会会員診断士の協力のもと、無事開催できたことを報告いたします。

≪企業発表：ブース前プレゼン≫

出展企業によるブース前のショートプレゼンテーションを展開しました。参加者が巡回してプレゼンを聴いていくという、従来にない方法を試みも今年で 3 回目になります。当初はプレゼン企業への事前支援などを行ってきましたが、事前説明会でポイントを伝えたのみで当日に臨みました。

事前の出展社リストをもとに作成した紹介文を奈良どっと FM の MC 栗生さんに紹介してもらいながら、企業担当者がそれぞれプレゼンを行いました。　11 月 8 日の当日は、11 社と支援機関 3 者、創業塾卒業生 2 社が意欲的な発表を行い、修了後の懇親会で名刺交換や意見交換など活発な交流がはかれました。

≪お弁当グランプリ≫

今年度最優秀賞：チーム“たまご焼き”／お腹いーっぱい弁当（大和高田商業高校）

「地産地消と食育を育みつつ、毎日学校に持ってくるお弁当をイメージして作ったよ」をテーマとして第 5 回「お弁当グランプリ」の開催・運営をいたしました。本企画を通じて地元高校生が大和高田特産野菜に親しみを持ってもらうことが目的で、毎年高校生ならではの新しいレシピが生まれています。参加校は、大和高田市立商業高校と高田文化高校の 2 校で、いずれも担当の先生方の熱心な指導の下、行内予選を勝ち抜いた 6 チームで優勝を争いました。

また前年の最優秀作品は、スーパーヤオヒコ様が商品化し全店舗で販売されることとなりました。想定以上に原価がかかったようですが、地元スーパーの地域振興の取組として活動いただいております。またこれを機会に「市立大和高田商業高校のすき焼き」もレトルトで商品化されることになりました。これらの取組の広がりも視野にいれて次年度の企画を始めたいところです。

令和元年度近畿ブロック会議
活動報告

理事　佐伯　眞

令和元年 11 月 22 日（金）京都市にある西の迎賓館といわれる長楽館において、京都府中小企業診断協会　山脇会長の司会のもと、近畿ブロック会議が開催されました。

出席者は中小企業診断協会　米田会長　野口専務理事　楢崎氏、福井県中小企業診断士協会　田中会長　大石副会長、京都府中小企業協会　山脇会長　坂田副会長　岡原副会長、大阪府中小企業診断協会　風谷理事長　小野副理事長　横山副理事長、大阪府中小企業診断士会　林副理事長、兵庫県中小企業診断士協会　柴谷会長　湯浅常任理事、和歌山県中小企業診断士協会　中村会長　水城副会長、そして森会長、佐伯の合計 20 名で会議が行われました。

まずは連合会本部からの報告等がありました。

最初に中小企業診断士のコンプライアンスについての報告があり、各府県協会単位で規定を作成すること、理論研修に盛り込み、会員に周知してほしいとの依頼がありました。

次に令和２年度中小企業・小規模事業者関係概算要求等の概要の説明があり、令和２年１月中旬には詳細がわかるため、都度本部から情報を流すとのことでした。

その他、働き方改革と企業内診断士の活用について、令和元年 7 月 31 日から中小企業支援法で定義されている中小企業者に限られていた実務従事の対象範囲が、従業員数の要件を満たす医業又は歯科医業を主たる事業とする医療法人等、社会福祉法人、NPO 法人が新たに追加となったとの説明がありました。

最後に各府県協会から、中小企業強靭化法・BCP への取組みについて、企業内診断士の活動支援の状況について、経済産業省以外の省庁からの事業受託状況について等の取組み状況の発表がありました。

「114（いいよ）ね!! 中小企業診断士」
活動報告

理事　保延　薦

地域のラジオ出演し、活動報告することによって、潜在顧客を広げる

診断士の日の１１月４日１９時から３０分間、生放送でならどっと FM にて、ラジオ放送を行いました。今年で、４回目と恒例になりつつある行事です。毎年定期的にラジオ放送を行うことで、広く中小企業診断士の存在、役割等を知って頂き、地位の向上を図っていければと考えています。また、放送内容の録音ＣＤを作成し、関係機関、関係行事時に配布し、広くアピールする予定です。

具体的には、（１）　森会長より、中小企業診断士とはどんな資格なのか、どんな役割を果たしているか、についてイントロとして説明しました。（２）奈良県中小企業診断士会所属の木村会員より、今まで行ってきた診断士としての業務、中小企業にとっての診断士活動の重要性、喜びを感じたこと等を話してもらいました。また、仕事以外として、仲間と行っている趣味の話等をして頂きました。保延からは、診断士としての仕事の内容、他の士業との違い等について話をしました。（３）奈良県中小企業診断士会の活動について奈良県中小企業診断士会の現在の活動内容、今後の組織としての取組みについて説明しました。

来年度は、もっと多くの会員に参加していただければ幸いです。

ならどっと FM スタジオにて、左より、保延理事、木村会員、森会長

産学等連携研究会だより

会員　竹下　富彦

○　研究会立上げの経緯

平成 30 年７月に、奈良工業高等専門学校と奈良県中小企業診断士会は「産学に関する協定書」を結び、地元での産学等連携を推進することで、地域の産業活性化を共に目指すことになりました。これにより、奈良高専と連携を組まれている企業からの支援依頼が予想され、これに対応する仕組みが士会として必要となり、受け皿として当研究会を立ち上げることになりました。会は昨年の７月より活動を始めています。すでに２件の案件をいただき、両件とも業務は終了しています。

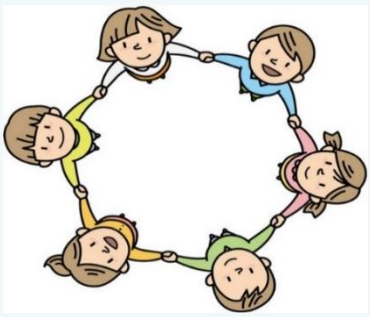
○　会の活動と今後

会の活動には２つの大きな柱があります。ひとつは上記にも書きましたが、奈良高専からの依頼による企業への支援です。奈良高専との共同研究で開発された製品のマーケティングなどが予想されます。研究会にとっては報酬もいただける実践の場です。

もうひとつは、奈良高専以外での連携の模索と、他連携事例の調査・研究です。具体的な事例を調べることで、診断士が連携にとう関わっていけるのか、どうすれば結果がだせるのか、などが見えてくるはずです。また国、自治体、公的機関、金融機関等の連携に関わるサポートも調べてみたく思います。これら今後の会のあり方は、メンバーの方々との話し合いで柔軟に進めていくつもりです。

先日いい体験をすることができました。奈良高専・機械工学科５回生の学生と企業がグループをつくり、企業が取り組んでいる事業と SDG s との関りを見つけ、今後これをどう活かしていくかの勉強会がありました。私は、地元で SDG s の活動に取り組んでいる NPO の活動を具体的に紹介し、その中の課題について学生達（４名）にアドバイスを求めたところ、大いに関心を持ち、いろいろ質問も受けました。

奈良高専と連携されている企業だけではなく、学生達も我々の支援の対象になるのではと思った次第です。具体的なテーマと機会があれば提案してみようかと思います。実は４名とも中小企業診断士のことは全く知りませんでした。「国家資格の経営コンサルタント」と紹介すると関心をもったようです。診断士の存在と活動を知ってもらういい機会でもありました。



次世代経営者育成研究会

だより

会員　竹下　富彦

○　研究会の活動

現在の会の活動は２つです。ひとつは、次世代を担う若い経営者及び後継者の育成を目指したセミナー・研修の実施です。前年（令和元年）は、奈良商工会議所青年部でのセミナーを７月に実施しました。当青年部は奈良市を中心に、45 歳以下の経営者及び後継者の集まりで、100 名を超える会員がいます。「経営理念について」のレクチャーの後、会員による発表、質疑応答と進みました。講師の入場及び退場の際には、会員全員での起立・拍手の送迎があり感激しました。

もうひとつの活動は、士会のメルマガ・HP で案内しています、産経新聞朝刊・奈良版のコラム「経営と暮らしの羅針盤」の執筆です。平成 30 年 10 月からスタートしましたので、１年以上続いています。昨年は、新たに会員の３名の方に執筆していただき、「私の書いたものが新聞に掲載されてうれしい」との感想をいただきました。奈良県では約９万部が購買されており、多くの方々に読んでいただけるいい機会になったと思います。

○　今後の活動予定

奈良商工会議所青年部とはコネクションができましたので、来期もセミナーの企画を提出する予定です。それとは別に、会として何か新しいものが提案できないかと思案中です。青年部は会長以下、副会長、委員長など全て毎年入れ替わりますので、その都度新たに交渉することになります。今、メンバーの方々にセミナーの企画を考えていただいています。

コラムのほうは、テーマを１つ決めそれを５人で書いてみる、昨年初めて書いていた方々に再度の執筆をお願いする、などを考えています。「多くの方々に、わかりやすく書く」という基本スタンスが、我々診断士の報告書作成などに大いに役立っているように思います。

トピックス

第 34 回診友会開催報告

診友会幹事　　原田　高峰

令和初の「診友会ゴルフコンペ」

奈良県中小企業診断士会の年２回春・秋の恒例行事であります本年秋の「診友会ゴルフコンペ」は今回で３４回目となのり記念すべき令和初のゴルフコンペとなりました。今回は１０月２４日（木）に難易度少し高い戦略的なゴルフ場であるレイクフォレスト･ザ･センチュリーコースでの開催となり、２組７名で楽しい戦いを繰り広げました。今回はプレー費７，４８０円（昼食代基本料金込み）及び参加費（賞品・懇親会費）２，０００円でした。平日プレーですから総額１万円までに収まるように注力しています。センチュリーコースはフェアウエイもグリーンもきれいに整備された気持ちよくプレーできるゴルフ場です。今回も全員健闘されて参加者平均スコアはグロス１１０（ベストグロス９３、メーカーグロス１２４）でネット８９．２という戦略的なコース攻略に全員苦労した成績でした。栄えある優勝は木下充啓先生がグロス９３でネット７８．５と素晴らしい成績で獲得されました、２位には久しぶりに幹事役の原田がネット８５．０で入賞いたしました。このコースの良さは自然豊かさと平日であれば価格もリーズナブルなことです。緊急の場合のキャンセル料も平日の場合、前日までにすれば無料になることで幹事としてはありがたいコースとなっています。また、回を追うごとに参加者も増加してありがたく思っています。今回も当初は９名の方がエントリーしていただき残念ながら仕事の都合で２名の方は参加できませんでしたが年々参加者も増えてきています。企業内診断士の方も有休を活用して是非ご参加ください。次回春のコンペは令和２年４月２１日（火）を予定しています。２月月初頃に正式案内いたしますので是非多くの方のご参加をお待ちしています。初参加の方はWペリア方式でハンディを算出します

奈良の新名所「ならまち糞虫館」

会員　中村圭一

新年あけましておめでとうございます。皆様の温かいご支援のおかげで、学者でも研究者でもない私が糞虫館の館長として２回目のお正月を無事に迎えることができました。本当に感謝！感謝！です。

橿原市の香久山公園にある、たくさんのチョウが乱舞する大温室を擁する「昆虫館（こんちゅうかん）」と１文字違うだけの「糞虫館（ふんちゅうかん）」。実際は大違いで、個人が趣味で始めた誰も来ない小さな展示施設なんですぅ。ちゃん♪ちゃん♪

いやいや、そんなことはありません。それどころか、ならまち糞虫館は既に橿原市昆虫館を凌駕しているのです。1989 年にオープンした橿原市昆虫館は、延床面積 2,900 ㎡、来館者数 66 千人(2003 年)、月曜休館。一方、ならまち糞虫館は、延床面積 100 ㎡、来館者数 1.6 千人(2019 年)、土･日のみ開館。100 ㎡あたりの来館者数で比較すると、昆虫館は 7.2 人/日、糞虫館は 15.7 人/日で、なんと倍以上の集客力があるのです！単位時間当たりとか職員一人当たりとかにすると、その差はさらに広がります・・・

なーんて言ったところで、やっぱり誰がどう見ても橿原昆虫館の方が素晴らしい施設ですよね、やっぱり（苦笑）。でもですね、この発想は我々中小企業診断士には必要で、昆虫全般ではなく糞虫に特化したことは商品・サービスを絞り込むこと、集客が見込める土日のみの営業とすることは効率性を上げること、自分の目の行き届く広さに抑えることは顧客満足度を高めることだと考えれば、その成果の指標として単位面積･単位時間当たりの来客数や売上高比較というのは、あながち負け惜しみとは言い切れないような気もするのです。

タイトルにある「奈良の新名所」は、大手新聞社さんが見出しに使ってくださったフレーズなのですが、ホントに早くそうなりたいものです。確かに奈良には貴重なお寺や仏像が数多くあるため、文化や歴史を紹介する施設があちこちにありますが、自然や生物を紹介する施設は見当たりません。春日山原始林や野生のシカとヒトが共存する奈良公園など、世界的にも貴重な自然が溢れているのに、きちんとした説明や紹介がなされていないのが残念でなりません。ならまち糞虫館が奈良の新名所になって、ひとりでも多くの人に糞虫の面白さ、自然の素晴らしさ知ってもらい、地球の環境に関心を持ってもらいたいと思っています。最後に今年の目標を…

「糞虫館の２号館をオープンするぞっ！」（つづく）

各研究会活動状況

研究会名	会員数	開催頻度	主な活動内容	入会申し込み先
企業内診断士研究会 【代表者：深谷会員】	14 名	今年度は図書情報館で６日開催	実務ポイントの獲得とメンバーのスキルアップを目的とした活動を行っている。2013 年度より、奈良県立図書情報館において「体験セミナー＆無料経営相談会」を開催。	深谷 fukaya@kcn.ne.jp
ＩＴＣツールによる共通ＥＤＩ活用研究会 【代表者：渡辺武久理事】	５名、新規参加受付中	定期的には２か月毎に開催、随時開催もあり	2020 年、日本の受発注システムに革命が起こる。その起爆剤として、従来の EDI（電子データ交換）を共通化した「中小企業共通 EDI」が 2018 年 3 月にＩＴＣ協会から発表された。その後も機能追加が行われ、ＩＴＣによる普及活動が本格的に始まった。本研究会はこのツールの導入ガイドラインを中小企業に提案することを目的とする。診断士会として導入をＩＴビジネスとすることも視野に入れる。またＩＴＣ協会の届出組織「ITC 実践研究会」との共同研究とする。	渡辺 fwkz5706@nifty.com
奈良マーケティング研究会 【代表中島篤会員】	７名	月１回	「診断士のマーケティング」を目的とし、診断士の案件開拓に向けた試みを実践しています。現在のテーマは、診断士の協業についてです。	中島　篤 nakajima@lewes-group.com

奈良活性化研究会 【代表者：保延理事】	約80名	２か月に１回	今年度後半は､8 月は徳南会員から「まったなし、働き方改革」として働き方改革について分かりやすく説明頂き､１２月（１０月は台風のため１２月に延期）は須崎会員から「事業承継」について国の施策を中心に分かりやすく説明して頂きました。今後は２月に田中俊男会員から毎回好評の税務のトピックス等を講演して頂く予定ですので、是非ご参加ください。	保延　薦 honobe@tkcnf.or.jp
次世代経営者育成研究会 【代表者：原田理事】	５名	月１回	若い経営者及び後継者へのセミナー・研修の開催と、コラム「経営と暮らしの羅針盤」の執筆	竹下富彦 to-takesita@nifty.com 携帯：080－5312－784
産学等連携研究会 【代表者：佐伯理事】	７名	１～２か月に１回	奈良高専からの依頼案件の受諾と、産学等連携に関する調査・研究	竹下富彦 to-takesita@nifty.com 携帯：080－5312－784

新入会員自己紹介コーナー

◆ 2019 年 8 月以降、新たに入会された方からお寄せいただいた
自己紹介のコーナーです。
2020 年 1 月 1 日時点での会員数は 107 名となっています。

ふりがな		おくだけんいち
名前		奥田謙一
連絡先	Tel.	０９０－３７２８－５７７５
	Fax	０７７４－５１－５３０８
	E-mail	kenichi.024@gmail.com
勤務先		奥田コンサルティング
登録年度		平成２８年度
転入・重複の支部名		京都府中小企業診断協会 滋賀県中小企業診断士協会
		たこ焼き屋からラーメン屋、創作居酒屋、また洋酒パブ等、さまざまな形態の飲食店経営、運営に携わって参りました。また、その経験・知識を活かして、食品メーカーで大手コンビニ商品の開発に携わって参りました。
特技		宴会
趣味		読書

ふりがな		ささきはら　せいじ
名前		佐々木原　誠司
連絡先	Tel.	090-4301-0732
	E-mail	se.sasakihara@gmail.com
勤務先		CG 制作会社
登録年度		令和元年度
		これまで十余年、総務業務を中心にキャリアを積んでまいりました。中小企業の支援を通して奈良を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。
趣味		サッカー観戦(奈良クラブ)

ふりがな		ほし　ゆうじ
名前		星　雄仁
連絡先	Tel.	090-8758-6422
	E-mail	hoshi@hsb-management.com
勤務先		
登録年度		平成 28 年
		現在 45 歳で、奈良に移り住んで来たのは 33 歳の時です。会社員をしていたので、昼間の奈良はほとんど知りません。今年から独立したので、今後は中小企業支援を通して、昼もどっぷり奈良に浸かりたいと思っています。よろしくお願いします。
特技		illustrator を使ったチラシ、 名刺等のデザイン作成
趣味		ゴルフ、映画鑑賞、美術鑑賞

ふりがな		やの　ひろみち
名前		矢野　裕道
連絡先	Tel.	090-7571-3874
	E-mail	hiromichi.yano@yanoya.me
勤務先		やのや
登録年度		2019 年度
		IT 活用専門の中小企業診断士・やのやのやのです。この秋に中小企業診断士を取得しましたが、1 年前から独立して IT コンサルタントとして活動しております。若輩者ですが、ぜひ色々と情報交換させてください！
特技		データ分析、KPI マネジメント、デザイン思考
趣味		ゴルフ、釣り、将棋

奈良県診断士会行事開催予定

- ◆ 令和２年度「新春互礼会」　　２月 07 日（金）
- ◆ 奈良県図書情報館
  体験学習会＆無料経営相談会　　１月 12 日（日）
- ◆ 第 27 回　診友会　　４月 21 日（火）

編集後記

▽ 会報「診断なら」2020年新年号をお届けします。
原稿をお寄せいただいた皆さまに改めて御礼申し上げます。
▽ 毎日寒い日が続きます。風邪など召されぬよう、どうぞご自愛ください。
▽ 「診断なら」では、会員の皆さまの寄稿も積極的に紹介していきたいと考えています。
エッセイや時事論考など、随時お寄せいただければ幸甚です。　【米田】

〒630 - 8217
奈良市橿本町３－１
きらっ都・奈良 ３階 302 号
Tel ：0742-20-6688
Fax：0742-20-6788
e-mail： jsmeca27@m3.kcn.ne.jp

一般社団法人
奈良県中小企業診断士会
http://www.nara-shindanshi.jp/